

第6回 事業推進委員会・議事録

開催日 : 平成18年9月13日 (水) 午後5時から午後7時30分
場所 : 京都コンピュータ学院 京都駅前校 西館4階 会議室
メンバ : 委員長 京都電子計算(株) 駒井 一正
委員 アド・プロヴィジョン(株) 河合 博康
委員 (株)京信システムサービス 竹内 清量
委員 (株)近畿リサーチセンター 小島 耕一郎(欠席)
委員 けいしんシステムリサーチ(株) 小野 隆夫
委員 (株)ケーケーシー情報システム 宇野 悟史
委員 島津エス・ディー(株) 山本 孝
委員 総合システムサービス(株) 古川 峰生
委員 竹菱電機(株) 中村 徹
委員 ワールドビジネスセンター(株) 中島 正司(欠席)
事務局長 京都コンピュータ学院 和田 壽郎

主たる議題 (議事進行は駒井委員長が行う)

1. 事業推進委員会事項
 - 1) 会員増強運動の進捗状況確認(継続)
 - 2) 会員資格と会費問題(継続)
2. 各委員会報告
3. 事務局報告

1. 事業推進委員会事項

- 1) 会員増強運動の進捗状況確認(継続)
 - ・ K C A : 入会申込予定会社(関西シンシア)
 - ・ 京都電子計算(株) : 1社入会申込受理(有限会社ユニバーレ-データベース)
 - ・ S E /システム高度化研究会出席の企業に打診予定(富士精工(株))その他進捗状況に変化なく成果に結びついていないので、10月の理事会で報告できるよう引続き各委員の活動を促した。
- 2) 会員資格と会費問題(継続)

K C A 古川理事長からの申し入れについて、意見交換を行った。意見交換の概要は以下の通り結論を導くまでには到らなかった。

 - ・ 会費を8000円から5000円に下げると年間約200万円強の会費収入減が予想され協会の事業運営に支障が生じる恐れがある。
 - ・ 会費をそのままにしておくとK C Aの会員会社の大半が脱退する可能性もあり、仮に半数の15社程度脱退すると150万円の会費収入減となる。
 - ・ K C A会員を団体会員として安い会費にすることは他の正会員の理解を得るのは難かしいのではないかと。
 - ・ 一度会費を下げると再度増額は難しいのではないかと。
 - ・ 同一会員で)会費に差異があるのは良くない。

事業推進委員会として次回の委員会で何らかの結論を出し、理事会に報告することとする。

2. 各委員会の活動報告と課題

1) 「地域情報化委員会報告(古川委員長より)」～下記「第6回事業推進委員資料」により説明

地域情報委員会の事業計画と進捗		平成 18 年 9 月 13 日
地域情報化委員会 例会	8 月 17 日 参加人員：8 名 ・ 試作グループ連絡会議には継続参加を決定。 但し、他グループとは異なり模様眺めレベル ・ 賀詞交歓セミナー講師は招徳酒造の木村氏に。 ・ 京情協の有様議論(IT 技術を生かした地域貢献) ・ システムエンジニアリング岡山は 11 月 17 日。	3. 京情協の有様(他府県情報産業団体を参考に) 8 月 17 日の委員会での議論 ・ 京都府が府民に対して提供するサービス,特に IT 施策及び IT サービスが府民にとり適切か,費用対効果に問題がないかを専門的な立場を活かして良い方向に導くのが意図に合致。 ・ 商工部の産業活力支援室,環境部の IT 政策監部門を中心に動きをウオッチしたのは不十分。 ・ 京都府事情に詳しい人からのレクチャが必要。
1. 試作産業創出関連	9 月 12 日京都試作センター(株)設立記念フォーラム ・ 約 300 名の参加者。京都府知事代行,近畿経産局長代行の出席のもと開催された。 ・ 京都試作センターの説明及び試作グループのプレゼンテーション等が行われた。 ・ 既に知っている範囲の情報であった。	4. 賀詞交歓の併設行事(セミナー) 8 月 17 日の委員会 ・ 議論の結果で招徳酒造の木村氏に決める。 ・ 講師プロフィールの取得,及び講演内容の詰めに入る事を決める。
2. 地上デジタル放送公共アプリケーション	8 月 22 日に IT 政策監付部門 ・ 大室課長補佐から国本課長補佐へ継承。 ・ 補正予算も圧縮されたので工夫している段階 9 月に延長上システムの説明し入札?	5. その他 (大学との連携) システムエンジニアリング岡山(SEO) ・ 11 月 17 日に京都に来られる。 ・ 交渉窓口は馬場社長に決める。 ・ 京都府(去年は岡山県から施策説明を戴いた)からの企画も考慮する必要がある。 ・ 8 月 30 日に京都府電子府庁推進室の原田室長を訪ね趣旨を説明して了解を得た。

尚、11 月 17 日システムエンジニアリング岡山(SEO)の来訪により、ボウリング大会の日程を変更することとする。

2) 「経営委員会報告」(小島委員長欠席のためメール文書を事務局長より説明)

8 月 17 日第二回定例経営委員会開催

8 月 17 日第一回情報交換広場開催

場所 ぱるるプラザ京都 6 階第三会議室

時間 19:00 ~ 21:00

テーマ 「外注管理について」

参加者 11 名

来年度の特別調査について、障害者・高齢者雇用支援協会訪問

(9 月 11 日 2:30 PM 上田、小島)

詳細は平成 18 年 8 月 17 日の第 2 回経営委員会議事録を参照されたいとのことである。

3)「技術委員会報告(山本委員長より)」～下記「第6回事業推進委員資料」により説明。

<9月度(第6回)事業推進委員会資料> 技術委員会報告	技術委員長 山本
1. 「S E /システム高度化研究会」(9/7開催)キックオフセミナー結果報告	
・ 会員外参加者6名を含んで44名の参加があった。	
・ 研究会参加者数は、情報セキュリティ5名、品質問題6名、新技術&開発効率問題9名(世話役除く)となった。	
2. 10月の「京都情報化フォーラム」開催について	
・ 開催日時、場所平成18年10月23日(月)15時30分～19時 平安会館	
・ 第一部 フォーラム 15時30分～17時	
演題 「RFIDがもたらす新しいライフスタイル」(仮題、正式演題未回答)	
講師 KDDI株式会社 技術開発本部開発推進部 部長 大橋 正良氏	
・ 第二部 懇親会17時15分～19時	
・ 中小企業技術センターの共催、京都産業21の後援を予定。会員に向け案内状を発送する。	
3. 2月の「技術セミナー」開催について	
・ 「次世代WindowsOS"Vista"の全貌」(マイクラフト)とする。	
・ 講演の依頼を行うも未だ回答なし。	
4. 「情報技術マップ作成」の進捗状況について	
・ 調査書の集計結果に対しカテゴリ別のコメントをとりまとめた。	
・ データ活用に資するため、さらに5項目にわたるクロス分析をすすめている。	
・ クロス分析の結果について10月委員会に提示し、委員からのコメントを求める。	
5. その他	
日時: 10月10日(火)17:00～	
場所: 京都コンピュータ学院駅前校 新館4階会議室	
以上	

4)「広報委員会報告(河合委員長より)下記「広報委員会からのご検討依頼案件について」にて説明。

事業推進委員会	平成18年9月13日
広報委員会からのご検討依頼案件について	
Web関連(添付データ)の報告と審議	
・ 添付データについて審議の結果Webサイトの管理責任者については従来どおり 広報委員が主体的に担当すべきで、事務局長(事務局員)に権限を与えるのは 実際に稼動してから検討してもよいのではないかとの意見が出された。	
広報委員会に、事務局員(KCGキャリア川岸さん)の参加要請審議<開催時刻を5時 から4時に変更>	
・ 事務局員を広報委員会に参加を求めることは他の委員会への参加も要請される 可能性あり無理がある。	
・ 4時～5時の広報委員会に参加してもらおうと、その間事務局が空白になり、具合 が悪い。	
・ そのため開催時刻を変更するのは良くない。	
各委員会で開催されるセミナー研修会などの原稿依頼時に「写真」も依頼したい。 (要望事項)	
ただし、総会や情報月間セミナー、新春セミナーは正式に取材するのは従来通り。	

[添付データ]

(社)京都府情報産業協会 Webサイト

TOP

新着情報

Information
セミナーのお知らせ

求人情報

- ・更新情報を告知
- ・Information (会員企業や京情協の行事)
- ・セミナー(会員対象/オープン) **申し込みも可能に**
- ・求人をしている会員企業名(リンク)

情報 広報委員(伏見・田中・荻野各委員中心)
事務局員 仮 UP 各委員長へメール連絡 確認:
<修正の場合は、広報委員長対応>

概要

京情協とは

組織体制 <図>

会長・役員紹介

京情協からの提言

委員会だよりと議事録

事業計画日程

事業推進委員会

地域情報化委員会

経営委員会

技術委員会

広報委員会

各委員会議事録

情報関連技術の普及及び利活用に関するいろいろな事業を行い、地域社会の情報化を促進することによって、京都府民の生活向上に寄与することを目的として活動しています。具体的には、会員たちが保有するITに関するノウハウや人材をベースにして、産・官・学のネットワークを構築し、京都地域の特性を生かした情報化促進事業の推進 情報通信技術を含む今日的テーマに関するオープンセミナーや研修会の開催 全国の地域情報関連団体との連携を通じて、京都府域のIT活性化事業を推進 等々行っています。

→ インターキョウトの会長直言を転用(若干リライト)

事業計画日程は、現状。
各委員会の今年度の活動方針はインターキョウト 30号記事。
各委員会で追加情報の掲載があれば、データを広報委員に

各委員会追加情報、議事録更新、会員名簿更新等は従来通り <荻野委員>

+ ITナビMAP <会員企業の得意分野を紹介します。きっと皆様のお役に立ちます>

会員名簿

技術情報ご相談承り

会報インターキョウト

ご入会について

お問い合わせ

リンク集

サイトマップ

このサイトについて

技術委員会(よくあるご質問)
30号までは、従来通り。31号からはBDの予定。

会員は、企業経営上のいろいろな課題を採り上げた研修会、技術特にSEに対するスキルアップ、行政との情報交換、会員同士のコミュニケーション等活発な活動を行っています。私たちと一緒に活動されませんか。

(入会申し込みから、会員登録までのフロー)

「お問い合わせ」: 定款、会費規定をご確認頂きましたら、事務局までメールまたはお電話にてご連絡ください。Mail: 電話

「お申し込み」: 御社の会社概要と会員(正会員 or 賛助会員)申込書を事務局にご提出ください。

事業推進委員会の審査及び理事会の承認を経て、加入が認められます。約2ヶ月の期間がかかります。

ご入会していただきましたら、「会員パック」をお渡します。

<案> Webサイト
管理権限者は
広報委員及び
事務局長
(事務局員)

「会員パック」(案)
会長及び事業推進委員長からのウェルカムメッセージ
会員名簿/パンフ
インターキョウトバックナンバー
パスワード

3. 事務局報告(和田事務局長より)」

日本・ケータイ国際フォーラム推進委員会(第1回)について

平成18年9月11日(月)15:30~16:30(於:京都ガーデンパレス)

【第6回ケータイ国際フォーラム事業実施計画】

- ・ 会期:2007年3月26日(月)~28日(水)の3日間
- ・ 会場:北京世紀金源ホテル・海淀展覽館(予定)
- ・ 実施体制

主催 ケータイ国際フォーラム推進会議(代表 京都府知事 山田啓二)

主催・実施主体 日本・ケータイ国際フォーラム推進委員会

(委員長:京都商工会議所会頭 立石義雄)

- ・ 議事 (1)日本・ケータイ国際フォーラム推進委員会の設立について
- (2)事業計画案について
- (3)予算案について

上記議事審議の結果、原案通り承認された。

データベース移行に伴う相談について(京都府中小企業技術センターよりの依頼案件)

下記以来案件について事務局長から説明を行った。

データベース移行に伴う相談について

(業務内容)

当該者は、きもの・帯、几帳・屏風、メモリアルグッズの製作販売及びきものクリニックを行っている。これまでに販売管理に関する業務をコンピュータ化し、データベースとして構築している。

(現在のデータベース仕様)

DETABASE: The CARD 8.0E

OS: Windows98

マスター台帳として「顧客台帳」「商品台帳」「加工台帳」を作成。データ数は、それぞれ5500、9000、1800で合計16300。

(問題点)

The CARD シリーズは既に廃盤となっている。

画像サムネイル機能がないため、画像データの保存には不適。

OS(Windows98)が古い。

(検討結果)

上記の理由から、Access、Excel、FileMaker等、他のアプリケーションへの移行を検討。

移行作業を社内で行うか、社外にアウトソーシングするかはコスト面等の検討を要するが、当該社においては、外部サポートを得ながら自社でデータベースを構築していきたいと考えている。(Access等については取り扱いの経験なし)

(依頼内容)

当該者の希望としては次の。ただし、コスト面や請け負っていただける内容によっては、も検討の余地あり。

社員を当該者へ派遣してもらい、サポートを受けながら自社内で構築。

移行作業をアウトソーシングし、その後、当該社でも変更等が可能なように、移行内容等についてサポートを受ける。

移行作業をアウトソーシングする。

【相談依頼窓口】 京都府中小企業技術センター 応用技術室 吉田 秀之 氏

上記依頼案件を会員各社に事務局よりメールで打診し対応することとした。

以上をもって委員会議事は終了し午後7時30分閉会した。

次回委員会は、

日時 平成18年10月11日 (水) 午後5時より

場所 京都コンピュータ学院 京都駅前校 新館4階 会議室

以 上